



2017年5月17日

調査結果

約半数が“自転車にも「車検制度」が必要”との結果に！

～5月の自転車月間に合わせ『自転車運転者の安全に対する意識調査』を実施～

共栄火災海上保険株式会社（本社：東京都港区新橋1-18-6、社長：杉中 洋文）は、5月の自転車月間に合わせ、全国の18歳～60歳以上の方、1,104名を対象に調査を実施し、『自転車運転者の安全に対する意識調査』を実施いたしました。全国の自転車による交通人身事故は、警視庁の発表によると、平成28年中で93,424件にものぼっており、自転車運転者の意識向上が求められています。本調査は日常生活の手軽な移動手段として用いられる自転車での事故を未然に防ぎ、より安全に利用することを考察する目的で実施したものです。

《調査結果サマリー》

1. 自転車運転者の約半数が“自転車の安全のためには、自動車と同じように「車検制度」導入が必要”であると回答

自転車運転者に、『自転車の安全のために、自転車にも自動車と同じように「車検制度」導入が必要であるか』聞いたところ、「必要だと思う」と答えた方が45.0%、「必要ではないと思う」と答えた方が36.1%という結果となりました。約半数の方は定期的な検査や車両管理が義務付けられていない、自転車に対して不安を抱えていることが本調査にてわかりました。

2. 自転車運転者の約6割が現在、自転車保険に加入していないという結果に

自転車運転者に、『自転車の事故に備える自転車保険に加入しているか』聞いたところ、「すでに加入している」と答えた方が38.3%、「加入していないが関心はある」と答えた方が42.5%という結果となりました。半数以上の約6割が自転車保険に加入していないという実態が明らかになりました。

3. 自転車を購入する際に重視することとして、「安全性」はトップ3に入らず

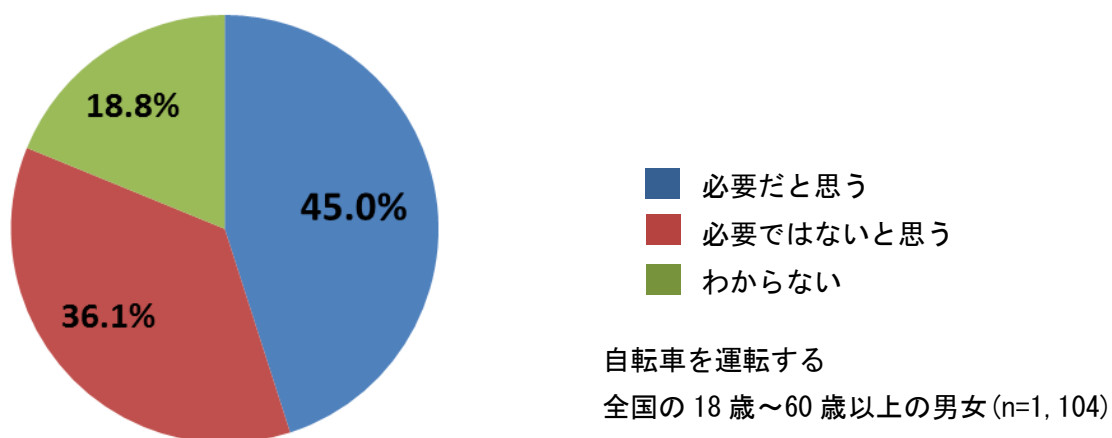
『自転車を購入する際、何を重視するか』聞いたところ、「販売価格」が67.8%、「デザイン」が51.0%、「性能」が38.9%という結果になりました。「安全性」はトップ3には入らず、「品質保証マークの有無」を購入時に重視している方は約1割しかいないことがわかりました。

【調査概要】

名称	『自転車運転者の安全に対する意識調査』
実施時期	2017年4月27日～5月9日
調査方法	インターネットを通じたWEB調査
調査対象	全国の18歳～60歳以上の男女
調査人数	1,104名

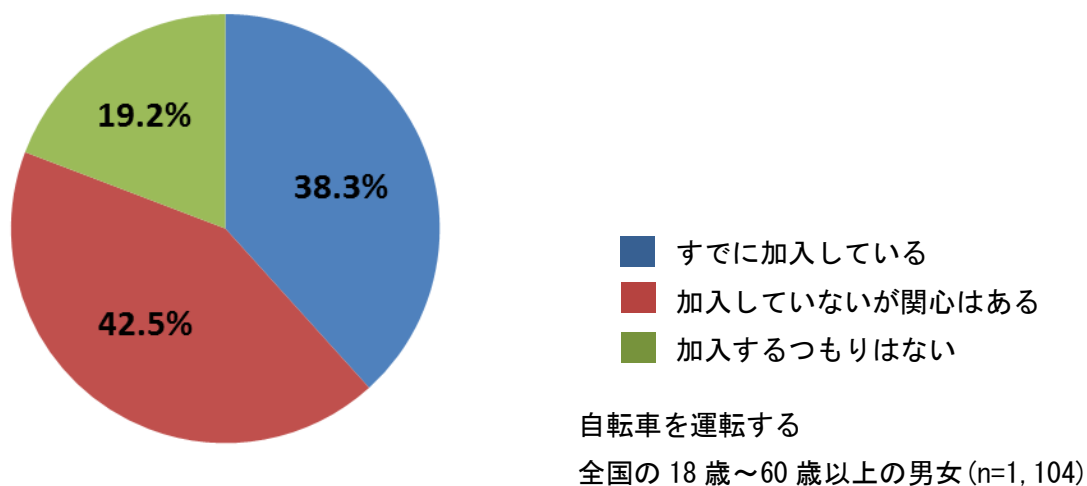
Q1. 自転車の安全のために、自転車にも自動車と同じように定期的な検査・車両管理を義務付ける「車検制度」の導入は必要だと思いますか？

自転車運転者に自転車の「車検制度」導入について聞いたところ、約半数の45.0%の方が、自動車同様の「車検制度」が必要だと感じていることがわかりました。日常生活で頻繁に活用する移動手段にも関わらず定期的な検査や車両管理が義務付けられていない自転車に対しての不安が表れた結果となっております。



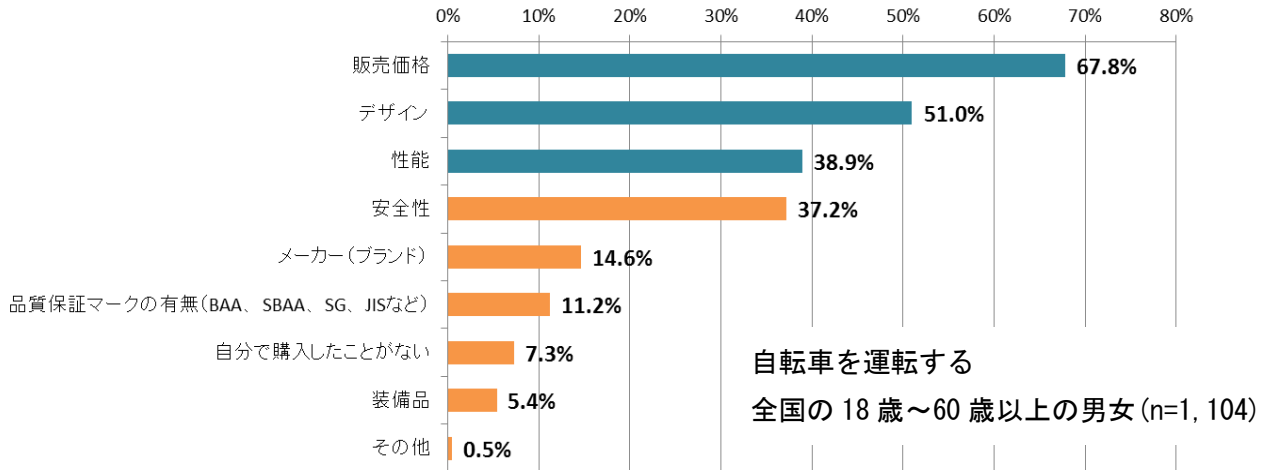
Q2. あなたは自転車の事故（自分が加害者として損害を与えた場合や、自分が被害者として被害を受けた場合）に備える自転車保険に加入していますか？

自転車の事故に備える自転車保険の加入状況について聞いたところ、すでに加入しているのは約38.3%にとどまり、半数以上の約6割が加入をしていないという実態が明らかになりました。特に対人事故においては、過去に約9,500万円の賠償が命じられたこともあり、高額賠償になりかねない自転車の事故において、保険加入の重要性を改めて考えていく必要性を感じる結果となりました。



Q3. あなたは自転車を購入する際、何を重視していますか？

自転車運転者に自転車を購入する際、何を重視しているかを聞いたところ、1位が「販売価格」で67.8%、2位が「デザイン」で51.0%、3位が「性能」で38.9%という結果となりました。トップ3に「安全性」は入らず、「品質保証マークの有無」を購入する際に重視すると答えた方は約1割程度にとどまりました。



【商品情報】

当社では、自転車事故によるご自身のケガや他人にケガをさせたりした場合の補償として、「自転車補償プラン（傷害保険）」や「自動車保険に付帯できる特約（自転車事故 安心プラン）」をご用意しております。

今回の調査結果にもあるように自転車保険の加入率は低いため、当社では自転車を安心安全に利用できる社会を目指して自転車保険の普及に努めて参ります。



自転車補償プラン（傷害保険）



自動車保険に付帯できる特約